独国青雪第 43 号

令和 7 年 9 月 2 7 日

利用団体各位

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立大雪青少年交流の家所長

山下 達也

冬期施設維持費の導入について

日頃より当所の運営にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

標記について、昨今の水光熱費等の高騰により冬期間における施設維持費が当所の財政状況を圧迫しており大変厳しい状況となっております。つきましては、冬期施設維持費を導入し、利用者の皆様へ施設維持費を一部負担いただくことでより安全・安心な施設の充実を図って参りますので、ご理解、ご協力をお願いします。

記

1. 適用期間と徴収対象者

10月1日～4月30日の宿泊利用者

※令和7年度は11月22日（土）以降の宿泊利用者から徴収を開始します。

2. 徴収料金

冬期施設維持費 200円／人・泊

※冬期間の施設運営にともない発生する光熱費等を補填するため

(例)

2名1泊2日する場合の冬期施設維持費 $2名 \times 200円 \times 1泊 = 400円$

10名が2泊3日する場合の冬期施設維持費 $10名 \times 200円 \times 2泊 = 4,000円$

3. その他

冬期施設維持費は現行の施設使用料（例：幼児300円、子供600円、大人2,500円）とは別に追加徴収するものです。現行の施設使用料に代わるものではありませんのでご留意ください。